



令和2年8月7日

各 位

会社名：フクビ化学工業株式会社
 代表者名：代表取締役社長 八木 誠一郎
 （コード：7871 東証・名証第2部）
 問合せ先：取締役経営戦略本部長 豊嶋 雅子
 （TEL：0776-38-8071）
 （広報・IR推進室長 久保 茂樹）
 （TEL：0776-38-8415）

業績予想および配当予想に関するお知らせ

令和2年5月12日に公表いたしました「令和2年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました令和3年3月期(令和2年4月1日～令和3年3月31日)の連結業績予想および配当予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

令和3年3月期第2四半期連結業績予想数値の修正(令和2年4月1日～令和2年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株あたり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	17,000	△100	180	80	3.94
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (令和2年3月期第2四半期)	20,657	579	682	467	22.63

令和3年3月期通期連結業績予想数値の修正(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	35,000	△100	340	160	7.87
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (令和2年3月期)	41,265	1,168	1,397	946	46.10

2. 業績予想公表の理由

令和3年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が当社グループに与える影響について、合理的に算定することが困難なことから未定としておりましたが、緊急事態宣言の解除等により経済活動再開の動きが見え始めたことを受け、現時点で入手可能な情報に基づき業績予想を算定いたしましたので公表いたします。

新型コロナウイルス感染症による業績への影響につきましては、第1四半期には移動の制限や接触の自粛などにより経済活動が停滞し、建築資材事業では現場の工期遅延や新規着工減、産業資材事業では車両向け部材の需要減が発生したことで、大幅な減収、減益となりました。

令和3年3月期通期につきましては、経済活動は再開されておりますが、依然として新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況にあり、第6次中期経営計画で掲げております原価低減活動やITインフラの最大活用等による経費削減や合理化を推進しておりますが、国内外の当グループが軸足を置く分野では、今年度中は影響が残ることを想定し、業績予想を算定しております。

なお、上記見通しにつきましては、今後の新型コロナウイルス感染症の収束時期や国内外の市況などにより大きく変動する可能性があり、当グループの業績に影響を及ぼす事象が生じた場合には、速やかに公表いたします。

3. 配当予想について

令和3年3月期配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (令和2年5月12日)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
今回修正予想	5.00	5.00	10.00
(ご参考) 前期実績 (令和2年3月期)	7.50	10.00	17.50

4. 配当予想公表の理由

令和3年3月期の業績予想が未定であったことから、配当予想につきましても未定としておりましたが、上記業績予想に基づき、配当予想を決定いたしました。

当社は、株主の皆さまへの配当を最重要政策の一つと認識しており、安定配当の継続を基本方針としております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業環境が急速に悪化する中で、収益力の回復に向けた財務基盤の安定化が急務であると考え、誠に遺憾ではありますが、上記のとおり配当予想とさせていただくことといたしました。

※なお、上記見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき算定したものであり、実際の業績は新型コロナウイルス感染症の収束時期等、様々な要因により変動する可能性があります。

以上